

TPP交渉における日米協議の概要

平成26年4月21日

内閣官房TPP政府対策本部

- 4月16～18日に甘利大臣が訪米し、ワシントンにおいて、フロマン代表と、一対一の話し合いも行いながら、日米間の残された懸案事項である農産品のいわゆる「重要5品目」と自動車について厳しい協議を行った。
- 米国側からは、TPPが高いレベルの自由化を目指していることを、日本側からは、衆参農林水産委員会の決議と整合的な成果を得る必要があることを繰り返し主張した
- これらの協議を通じ一定の進展はあったが、双方の立場には依然として相当の距離がある。
- 先月、安倍総理とオバマ大統領が会談を行った際、交渉を加速化させることで一致している。オバマ大統領の訪日を控え、引き続き交渉を継続していく。

(以上)